

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	084 つくばSDGsパートナー講座						
予算科目	01-020108-20			SDGs推進に要する経費		担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦
市長公約	8					係名	
戦略プラン	I-1	4	1	つくばSDGsパートナー講座		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	11住み続けられるまちづくりを
							17パートナーシップで目標を達成しよ

## 事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みづくりを構築していく。
概要 (取組内容)	課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していく「つくばSDGsパートナーズ」を認定するため、つくばSDGsパートナー講座を開催する。 講座では、SDGsの17ゴールに関する取組について、学識経験者やNPO等の市民活動団体等からの講義を受け、自らが活動していくためのきっかけづくりを行っていく。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	337	329	412	412	412	
	決算額	(千円)	282	281	348	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	282	281	138	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	210	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,240	4,183	4,204	4,184	4,184	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	65.00	34.00	48.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市広報紙、ホームページやつくスマでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	アンケート、ホームページでの情報発信
評価、検証	講座終了後の参加者アンケート

## 指標の推移

1	指標名	つくばSDGsパートナー講座の開催回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	6.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	3.0	4.0	4.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) パートナーズ個人会員を認定するためのパートナー講座の開催回数を指標にすることで、個別施策の母数となるパートナーズ個人会員数の増加を図る。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響によって対面でのワークショップ方式による講座は実施できなかった。
成果	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、全4回の講座をオンライン方式で実施した。 令和4年度はパートナーズ個人会員を新たに60名認定した。
課題	業務 新型コロナウイルス感染症の影響によってオンライン方式の講座のみとなり、対面方式による講座が実施できておらず、会場で受講者同士が交流する機会を提供できていない。 組織、予算等
改善目標	オンライン方式に加えて対面方式の講座を実施することで、自宅などから気軽に受講できる環境は残しつつ、交流を希望する受講者のニーズを満たすことを目指す。

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	085 社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」事業					
予算科目	01-020108-20 SDGs推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦	
市長公約	8			係名		
戦略プラン	I-1	4	2	社会課題解決ワークショップ	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みづくりを構築していく。
概要 (取組内容)	ワークショップを開催し、様々なステークホルダーとの対話を繰り返すことで、本市の課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していくことを目指す。 ワークショップの中では、これから活動を始めるに当たって参考となる有識者からの講演やつくば市におけるSDGsの様々な取組を市内外に発信し、SDGsの推進に向けた波及効果を目指す。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,334	4,346	4,379	4,727	4,379	
	決算額	(千円)	4,334	4,309	4,355	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	9	65	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	4,334	4,300	4,290	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,009	6,944	4,321	6,933	6,933	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.60	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	85.00	45.00	96.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、つくスマやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	ホームページでの情報発信、中間発表会・パネルディスカッションの開催
評価、検証	各ワークショップ・イベント終了後の参加者アンケート

## 指標の推移

1	指標名	ワークショップにより実施された活動回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0
	実績	0.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) 本指標値を増加させることによって、個別施策の指標に掲げる「社会課題の取組に参加している割合」の増加を図る。					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	参加者・事務局間の連絡方法を電子メールからSlack（コミュニケーションアプリ）に変更した。Slackの利用により、参加者はチーム内での意見交換や事務局への質問などを円滑に行えるようになった。事務局は各チームの対話の現状を把握しやすくなり、適切なタイミングで助言を行えるようになった。	
成果	3回のワークショップを通して、5つのチームが次年度に実践するアクションを検討した。その結果、活気のある地域づくりや、子ども・外国人の支援、環境保全などをテーマとするアクションが企画された。2月に開催したつくばSDGsフォーラムでは各チームが中間発表を行い、チーム間の協力に関する意見が出た。フォーラムは89.6%が満足と回答した（5段階評価で4・5を選択した割合）。	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者によって関心のあるテーマが異なり、チームとして1つのアクションに絞っていくことが難しい。</li> <li>テーマやアクション内容を、約5名のチームで実現可能な規模に落とし込むことが難しい。</li> </ul>
	組織、予算等	
改善目標	受託業者とともに各チームとの対話を繰り返すことによって、各チームの自主性を損なうことなく、実現可能な規模のアクションの実践につなげていく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	069 アイラブつくばまちづくり事業						
予算科目	01-020108-12 アイラブつくばまちづくりに要する経			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦		
市長公約	7-1			係名			
戦略プラン	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市まちづくり寄附規則					SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

## 事業の概要

対象	市民、事業者、市外在住者
目的	いただいた寄附を市民のまちづくりに関する事業に活用することで、市民協働の活性化にも貢献する。返礼品を通じて観光や物産など市の魅力を発信する。
概要 (取組内容)	ふるさと納税専用サイト等による寄附金を受け付けるとともに、寄附に対する返礼品を送付することで、寄附者との関係づくりを図る。併せて市の特徴的な返礼品開発を進める。 また、寄附金を活用した事業について、寄附金額や件数等の活用状況を明らかにすることで、使途の見え化を図り、共感を得ていくことで一層の寄附を募る。 さらに、一定金額以上の寄附をした寄附者の表彰を行うことで、寄附者に広く感謝の意を表す。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	49,997	63,782	174,799	171,826	171,826	
	決算額	(千円)	86,221	95,930	78,557	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	86,221	892	557	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	95,038	78,000	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,534	10,432	8,480	8,784	8,784	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.45	1.20	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	152.00	215.00	126.00	250.00	250.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNS等での情報発信
企画・立案、計画	-
実行	市広報紙での情報発信
評価、検証	アイラブつくばまちづくり表彰式・フォーラムを開催し、寄附の使い道等を広く周知する。

## 指標の推移

指標名	ふるさと納税の年間寄附件数 ( 件 )					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	2,800.0	3,500.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0
	実績	7,761.0	9,518.0	10,426.0	9,112.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-4-①市内外へ向けたPRの推進) 年間寄附件数を増やすとともに、リピーターを増やし、個別施策の指標である年間寄附人数の増加に寄与させる。【実績値は、各年度の2月末までの暫定値】					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ワンストップ特例申請書業務の効率化のために、オンライン上での申請システムを導入した。	
成果	ワンストップ特例申請の約3割をオンライン上で受けることができ、大幅に業務を圧縮することができた。	
課題	業務	各ポータルサイトでのオンライン申請システムの導入を検討する。 ポータルサイト・返礼品の充実を図る。
	組織、予算等	返礼品協力事業者の新規開拓や、ポータルサイトの追加により、業務量が増加および業務内容が煩雑なことから、組織拡充が必要。
改善目標	寄附受付後に即時で返礼品が受け取れるようなシステムの導入を検討する。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	059 SDGs 未来都市事業					
予算科目	01-020108-20 SDGs 推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦	
市長公約	8	77-1		係名		
戦略プラン	IV-1	1	2	SDGs パートナース（団体会員）の推進	新規・継続	継続
	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市SDGs 未来都市計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						12つくる責任つかう責任
						17パートナーシップで目標を達成しよ

## 事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者
目的	社会・経済・環境の3側面を重視した優先的なゴールとKPIを設定した「つくば市SDGs 未来都市計画」を推進することで、持続可能都市ヴィジョン及び持続可能都市宣言に掲げる都市像の実現を目指す。
概要 (取組内容)	地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材が育つ環境づくりを行うため、つくば市SDGs 未来都市計画の進行管理を行う。 また、つくばSDGs パートナースを通して、団体会員同士の連携を促進するとともに、食品ロス等のSDGsに関する課題解決を図る。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	593	217	184	276	276	
	決算額	(千円)	151	86	114	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	151	86	114	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,530	3,158	4,177	1,485	1,485	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.45	0.60	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	69.00	34.00	37.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市広報紙での食品ロスの周知
企画・立案、計画	
実行	ホームページやSNS等での情報発信（パートナーズ団体会員イベント情報/食品ロス）
評価、検証	アンケート等

## 指標の推移

1	指標名	食品ロス削減に向けた広報、講座、イベント等での周知回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	3.0	3.0	4.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-①市食品ロス削減に向けた意識啓発) 食品ロスに関して学ぶ環境教育に取り組むとともに、市民に食品ロス削減に対する意識の醸成を図る。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	食品ロス削減に向けて、県及び関係部署と連携し、周知活動を実施した。	
成果	6月の環境月間に茨城県及びSDGsパートナーズと連携し、イオンモールつくばでフードドライブの実施及び市のSDGsの取組を周知した。 SDGsパートナー講座では茨城県の取組である「いばらきフードロス削減プロジェクト」をテーマとして取り上げ、食品ロス削減の取組を周知した。	
課題	業務	食品ロス削減に向けて効果的に周知を図り、市民の意識啓発につなげる必要がある。
	組織、予算等	食品ロス削減に向けて、県及び関係部署との連携が不可欠である。
改善目標	SDGs未来都市計画の推進に向け、特に食品ロス削減について市内での情報共有を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	